



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ツカモトコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 阿久津 和行
(コード番号 8025 東証第 1 部)
問合せ先 専務取締役本部担当 小林 史郎
(TEL. 03-3279-1330)

中期経営計画の策定について

当社グループは、2016～2018 年度を計画期間とする中期経営計画「グループ 3 ヶ年計画」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

2016 年度は「成長と効率化のグループシナジー経営の実現」を基本方針とした前中期経営計画の 3 年目にあたりますが、グループの現況及び取り巻く事業環境を考慮し、グループが今後も継続していくことに必要な更なる活性化と変革のための基礎を作る 3 ヶ年とした「グループ 3 ヶ年計画」を新たに策定し、経営基盤の再構築に取り組みます。

記

1. 基本方針

「ツカモトクオリティの追求」を基本方針とし、より活性化し、変革するための基礎作りの 3 ヶ年と位置付け、経営基盤の再構築に取り組みます。

営業部門の基本戦略として事業ポートフォリオの最適化に向け、「コア事業の確立」「不採算事業の再建」「新事業領域の確立」を掲げ、事業価値の進化と向上を推進していきます。また、更なる経営基盤の強化のために「グループ経営力の向上」「職場風土の改革」「財務戦略の強化」を実践してまいります。

2. 数値目標 2018 年度 (2019 年 3 月期) 連結売上高 240 億円、連結経常利益 3 億円

3. 重点施策

(1) 営業施策

和装事業につきましては、催事運営体制の再構築と OEM 事業の推進を図り、黒字化に向けた事業体制の確立に取り組んでまいります。

洋装事業につきましては、ツカモトアパレル株式会社におけるメンズ事業及びレディス OEM 事業では既存販路に加え、新規販路の開拓とそれに向けた新たな商品の開発を積極的に行い、事業構成の再構築に取り組みます。また、ツカモトユーエス株式会社におけるユニフォーム事業では既存のユニフォームの製造・販売に加え、その管理・運用に向けた新たなサービスの提案に取り組んで高収益体制の確立を図ってまいります。

健康・生活事業につきましては、市場のニーズに合った新規商品の開発を急ぎ、安定的な黒字事業の体制確立に取り組んでまいります。

ホームファニッシング事業につきましては、採算の良い店舗への絞込みや仕入コスト・物流コストの圧縮を図り高収益体制の確立に取り組んでまいります。

これら既存事業部門の安定化を図りつつ、新規事業の開発に積極的にチャレンジし、経営基盤の基礎固めに取り組んでまいります。

(2) 全社共通課題

ガバナンスの強化、事業ポートフォリオ戦略の推進、経営機能の強化によりグループ経営力の向上に取り組むとともに、活力ある集団、働きがいのある職場を目指し、人事戦略と併せて職場風土の改革に取り組んでまいります。また、有利子負債削減計画の実践、資金の効率化、営業キャッシュ・フローを重視した事業運営により一層の財務戦略の強化を図ってまいります。

以 上